

抗HIV薬予防服用説明書 <デシコビ、アイセントレス>


内服の意義

- ☐ 針刺しなどでHIV汚染血液等に曝露された場合の感染リスクは非常に低く、経皮的な曝露で0.3% 粘膜への曝露で0.09%と報告されており、B型肝炎やC型肝炎の同じ様な曝露の場合と比べて感染のリスクが低いことは知られています。
しかしながら、曝露源となった方の詳細な情報は即座に得ることは困難なため
事象が起こりHIV感染のリスクが考えられる場合は、曝露後に抗HIV薬の服薬をすることが推奨されます。
- ☐ 感染予防の効果をあげるためには、可及的速やか（可能であれば2時間以内）に予防薬を服用する必要があります。
- ☐ 予防内服をするかどうかについては最終的に曝露者が判断します。
- ☐ 曝露後予防の内服期間は28日です。

内服に当たっての注意点

- ☐ 妊娠の有無を確認しました。
この薬剤は、妊娠初期の胎児に対する安全性は確立されていません。妊婦の場合、HIV担当医師のいる病院で、服薬について相談して下さい。HIV担当医師と連絡が取れない際は、とりあえず第1包目を服用することをおすすめします。
- ☐ B型肝炎であるか確認しました。
B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。
- ☐ 予防内服される抗HIV薬

RAL（アイセントレス錠400mg） + TAF/FTC（デシコビ配合錠HT）

薬剤名	略名：RAL（アイセントレス）		略名：TAF/FTC（デシコビHT）	
剤型	うすい赤色の錠剤		青色の錠剤	
飲み方	①	アイセントレス 1錠 + デシコビ 1錠		
	②	アイセントレス 1錠		
	【1日2回（食事の影響なし）】 1回目は①をできるだけ早く内服する → 12時間後に②を内服する → 以降は 12時間毎 に①と②を交互に内服する			
保存方法	室温保存			
注意点	よく使用される薬剤の中にも併用禁忌薬は少なくありません。 本剤の服用を開始する前に、使用している薬剤を全て医師にお伝えください。 また、他院を受診される際には本剤を使用していることを必ずお伝えください。			